

平成 29 年度 第 3 回静岡地域医療構想調整会議 会議録

日 時	平成 29 年 11 月 7 日（火） 午後 7 時 15 分から 8 時 15 分まで	
場 所	静岡市城東保健福祉エリア 保健福祉複合棟 3 階 第 1・2 研修室 （静岡市葵区城東町 24-1）	
出席者 職・氏名	<委員> 静岡市静岡医師会長 袴田 光治 静岡市清水医師会長 村上 仁 静岡市静岡歯科医師会長 片山 貴之 静岡市清水歯科医師会長 本間 義章 静岡市薬剤師会長 秋山 欣三 清水薬剤師会長 柴田 昭 静岡県看護協会静岡支部長 櫻井 郁子 静岡赤十字病院長 磯部 潔 静岡済生会総合病院長 石山 純三 静岡市立静岡病院長 宮下 正 静岡県立総合病院長 田中 一成 静岡市立清水病院長 藤井 浩治 J A 静岡厚生連静岡厚生病院長 水野 伸一 静岡県老人保健施設協会副会長 萩原 秀雄 静岡県精神科病院協会会長（代理出席 溝口病院長 寺田 修） 全国健康保険協会静岡支部企画総務部長 玉川 茂 静岡県老人福祉施設協議会副会長 前田 万正 静岡市保健福祉長寿局保健衛生医療部長 羽根田 信人 静岡市保健所長 加治 正行 静岡県中部保健所長 木村 雅芳 <事務局> 静岡県健康福祉部医療健康局医療政策課班長 大石 晴康 静岡県中部健康福祉センター副所長 田辺 光男 “ （中部保健所）医療健康部長 梅藤 薫 “ （ “ ）地域医療課長 小泉 奈加之	
議 題	1 公的医療機関等 2025 プランについて 2 第 8 次静岡県保健医療計画の策定について（静岡圏域版）	
報 告	1 療養病床の転換意向等調査結果の概要について 2 在宅医療等の必要量調査について	

司会から、本日の会議の出席委員は名簿のとおりであり、本日 2 名（日野委員、中田委員）の委員が所用により欠席であることと、名簿 18 番 静岡県精神科病院協会会長の溝口会長に代わって、溝口病院寺田院長の代理出席を報告。

また、名簿8番、静岡県看護協会静岡支部の役員の変更に伴い、支部長の櫻井委員の就任を紹介。

さらに、本日は、2025年に向けた公的医療機関の方向性とそれを踏まえての第8次保健医療計画の策定を議題としているため、本会議に続いて開催する地域医療協議会委員並びに県保健医療計画策定作業部会の委員である静岡県病院協会の毛利会長及び浜松医科大学の小林特任教授がオブザーバーとして出席していることを報告。

また、公的医療機関等2025年プランの対象病院である独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センターの井上院長の出席を報告。

なお、本会議の会議内容については、議事録及び会議資料は、原則公開となることを説明。

これからの議事の進行を袴田委員にお願いする。

(袴田議長)

前回の会議において、各病院の現状と今後のことを話していただきたいと述べた。タイミング良く、7月に厚生労働省から公的医療機関等2025年プランの話があり、公立及び公的医療機関に対して2025プランの策定が求められた。これによって、それぞれの病院の現状や今後のこと、各病院のおかれている立場を静岡医療圏内で共有したい。課題としては、各病院の状況をどのように把握して、我々が策定している地域医療構想と照らし合わせて、どのように運用していくである。厚生労働省からは、地域医療構想のプランの変更等の意見がある。お互いの病院が、本音でぶつかり合うのが良いのではないかと考える。それでは、議題に移る。

【議題1】公的医療機関等2025プランについて

事務局より説明をお願いします。

(事務局) 資料1を説明

(袴田議長)

ありがとうございました。5分と短時間ではあるが、5病院の説明が終わったところで、議論したいと思う。

最初に、独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センターに説明をお願いします。

(病院説明者)

(資料P3から説明) 説明者：織田事務部長

(袴田議長)

ありがとうございました。静岡てんかん・神経医療センターは専門病院であるが、在宅医療が今後ポイントとなると思われるが、神経難病などの受け皿に関する対策などはどのように考えているか。

(井上病院長)

神経難病、てんかんの難病、重症心身障害の患者に対しては、今後、積極的に考えて行きたい。訪問看護ステーションの立上げなども必要だと思っている。

(袴田議長)

次に移ります。本来ならば、桜ヶ丘病院であるが、病院から申し出があり、都合により次回に回します。それでは、県立こども病院をお願いします。

(病院説明者)

(資料 P21 から説明) 説明者：横山調査監兼医療サービス課長

(袴田議長)

ありがとうございました。病床すべてを高度急性期とは、どのような根拠なのか。

(坂本病院長：オブザーバー)

基本的には、7対1看護がすべて出来る体制を整えている。救急病床を30数床運用している。始まりは、3次救急として、すべての紹介患者を受けるという体制であり、その後、2次救急が追加になった。1次救急は、基本的には紹介がなければ受けないという体制が維持されている。現在でも、高度急性期病棟で維持することになるが、この静岡医療圏でも、今後、5～6年で、10%程度小児の数が減少すると想定されている。また、小児領域の医療体制維持が困難となった場合に、こども病院が紹介レベルでの最終病院として考慮すると、小児の全体の数は減っても、高度急性期の対象患者が減るとは思っていない状況である。

(袴田議長)

ありがとうございました。次に移ります。静岡県立総合病院をお願いします。

(病院説明者)

(資料 P27 から説明) 説明者：後藤県立総合病院事務部次長

(袴田議長)

ありがとうございました。病床すべてが高度急性期というのは、どういうことか。

(田中委員)

混合病棟などは、病棟ごとの申請なので、ここを急性期にしてよいのか難しくなっている。申請方法の問題があると思う。

(袴田議長)

次に移ります。静岡市立静岡病院をお願いします。

(病院説明者)

(資料 P35 から説明) 説明者：鈴木事業管理部長

(袴田議長)

ありがとうございました。次に移ります。静岡市立清水病院お願いします。

(病院説明者)

(資料 P47 から説明) 説明者：杉浦事務局長

(袴田議長)

ありがとうございました。5病院の発表が終わりました。次回の5病院の発表と併せて、10病院が地域医療構想がどのように関係性を持って行くのか話し合いをしたいと思っている。病院単位ではなく、これから大切なのは静岡圏域全体のバランスを図るということになると思うので、よろしくお願ひしたい。

今回、小林先生がいらしているので、他の圏域も見ていると思うので、感想をお願ひしたい。

(小林先生：オブザーバー)

各病院の報告は、そのとおりだと思う。皆さんが思われている高度急性期と、国の制度の高度急性期では考え方が違う。この地域の高度急性期は773床で、今の報告を聞いていると、1,400床くらいの数が出てきている。今回のプランは、テンプレートどおりとなっており、1,400床を773床にするには、もっと具体的な数値が出てこない議論が進まない。病棟単位での点数や稼働率、在院日数を並べて行うしかないが、病棟機能報告はあくまで、自主的な報告によるものである。皆さんの将来の方向である病床数は、実際は、皆さんが決めればよいことであると思っている。病棟単位での報告状況で、先ほど議長が質問されたように「全て急性期ですか？」というような質問では、比較・検討のしようがない。病棟ごとに稼働率を出し、在院日数を並べて、それを見ていただいて、それでもOKならそれでいい。実際は、773床にならないと思う。オーバーフローすると思う。来年度診療報酬の改定があるので、その時に大きく変わる可能性がある。

ガイドラインにも定められているので、県がそういうことを指導してやってもらえればよいと思う。

(袴田議長)

ありがとうございました。小林先生から宿題をいただきました。事務局よろしくお願ひします。毛利先生一言お願ひしたい。

(毛利会長：オブザーバー)

病院協会会長として、いろいろな医療圏の意見を聞かせてもらっている。何処の話聞いても、うち(自院)は是非残してくださいとしか聞こえてこない。事務方の話を聞くと何処も一緒だなと思う。選挙と同じで、何処も一緒のことにしか聞こえてこない。「高度」をどう判断していきのか、最終的には、病棟ごとに判断していかなければいけないことだと思っている。

今後、2040年、2050年を想定しながら、病院のあり方を各病院の中で考えてい

ただいて、共通の問題点として、その辺を進めていってもらえればいい。

そして、このような調整会議の中で、1つの病院の問題ではなく、この圏域の共通の問題として考えて行く必要があると思う。静岡市内でも、80万人が65万人に人口が下がると言われている。それは事実であるし、65歳以上をターゲットにして、高度急性期と言っても、70・80歳の人を何処に収容するのか、いろいろなことを踏まえて、自分の病院の身を切る覚悟がないと進んでいかないと思っている。

小林先生が言われたように、これは、最終的に病院間同士で調整するしかない。院長を呼んで、県である程度の案を提示して、調整をしていかないといけない。今回は特に真剣に考えておかないと駄目だと思う。

(袴田議長)

ありがとうございました。5病院の報告につきまして、皆様からの質問・御意見はありますか。

ないようですので、次の議題に移らせていただきます。

【議題2】 第8次静岡県保健医療計画の策定について

骨子案を踏まえて、素案を作成しました。事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(資料2を説明) 骨子案からの大きな変更点を説明

- ・ P96～ 患者受療動向状況 (H29.5.31現在の状況に変更)
- ・ P99～ 療養病床を有する医療機関の転換意向 (H29.10.1現在に変更)
- ・ P100～ 医療機関の動向 (最新の状況に記載内容を変更)

(袴田議長)

ありがとうございました。今回、この素案について、意見を伺いたいと思っている。最初に静岡市から追加説明があればお願いしたい。

(羽根田委員)

静岡市では、中部保健所からの依頼を受け、静岡圏域版の骨子案を修正等の提案をさせていただいた。

保健医療計画は、7疾病、5事業、在宅医療ということで内容が多岐にわたることから、静岡市の関係する所属10課と協議した上で、静岡市としての案を作成させていただいた。修正の主な点のみ述べさせていただく。

1点目としては、93ページの対策のポイントですが、圏域の地域医療構想と在宅医療等の推進について、静岡市には在宅医療介護連携協議会があり、これを中心に地域包括ケアシステムの推進を行っている。素案では4つの対策を記載していたが、このうち、「ICTシステムを活用した在宅医療と介護・福祉施設等との連携体制の強化」については、全県的な対応をされるものであるもので、圏域としては削除させていただいた。また、疾病予防やその下段の重症化予防の推進については、特定健診、がん検診の受診率の向上を中心として進めていくということで、このポイントの整

理をさせていただいた。

2点目としては、102 ページの数値目標ですが、3 疾病・事業及び在宅医療の医療連携体制について、がん検診精密検査受診率、「特定健診受診率」と「自宅看取り率」を加えさせていただいた。がん検診精密検査受診率や特定健診受診率については、それぞれの疾病に対する予防早期発見には検診の項目が上げられているところであるので、やはり数値目標として掲げることとした。また、自宅看取り率については、2014 年の人口動態統計により、静岡市における自宅で亡くなる割合が14.6%、それを2025年に目標30%にしたいと考えている。これについては、現在、静岡市で策定を進めている「健康長寿のまちづくり計画」の施策の方針のひとつに掲げている目標であることから、本人・家族の希望に応じて、住み慣れた場所、特に自宅で安心して暮らせる視点を目指している。

その他、疾病、事業ごとの内容につきまして、各種の施設数、施設名称、データにつきまして直近のものに修正を加えた部分もある。説明は以上です。

(袴田議長)

ありがとうございました。次に在宅医療等で何かあれば、塩澤本部長お願いしたい。

(塩澤本部長)

現在、静岡市では、在宅医療を進めるにおいて、小圏域ごとに医療と介護の連携を進めている。それぞれの専門職の顔の見える関係を作りながら、在宅医療を進めている。地域ごとに、昨年度から検討会を始めている。がん患者に対する対策や認知症患者に対する対策などを検討している。また、ICTについても、静岡市としては重要なアイテムと考えている。これは、県の大きな目標としてあげていただきたいと思う。

(袴田議長)

次に、計画に作成に協力いただいた加治委員から、発言をお願いしたい。

(加治委員)

1点のみ、107 ページの肝炎の件に関してですが、静岡市独自の取組として、保健所及び市内260か所の診療所で、肝炎ウイルス検査を実施し、早期発見に努めている。年間約8,000件の検査を行っている。以上です。

(袴田議長)

ありがとうございます。それでは何か御意見・御質問ございますか。

意見が無いようなので、このまま最終案に向けて調整して行きたいと思えます。よろしくお願いしたい。2つの議題が終了したので、報告事項に入らせていただく。

【報告1】療養病床の転換意向等調査結果の概要について

事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(資料3を説明)

(袴田議長)

ありがとうございました。

【報告2】 在宅医療等の必要量調査について

事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(資料4を説明)

(袴田議長)

ありがとうございました。資料が膨大ですので、読んでいただき、意見をいただければと思います。それでは、これで議事を終了しますが、2人のオブザーバーの意見を踏まえて行きたいと思います。協力をよろしくお願いします。

(司会)

袴田議長、時間の限られた中で進行いただき、ありがとうございました。

なお、143ページの資料5ですが、地域医療介護総合確保基金の資料がありますので、後ほど、御覧いただきたいと思います。

保健医療計画につきましては、十分な御意見をいただく時間がなかったので、前回同様に意見提出書を用意してありますので、追加意見がありましたら、ファックス等で事務局まで返信いただければと思います。

次回開催は、来年1月ごろを予定しておりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。

それでは、これをもって、平成29年度第3回静岡地域構想調整会議を終了する。ありがとうございました。